

## 報告第1号

## 「夏休み小学生50円バス」の実施に伴う運賃の変更について

## 1 「夏休み小学生50円バス」の事業概要

## (1) 事業の目的

夏休み期間中に東三河地区の路線バスのこども運賃を1乗車50円とすることにより、小学生の路線バスの利用を促進し路線バスの活性化を図ることを目的とする。

## (2) 対象路線

## ① 路線バス

事業者名	適用範囲・適用条件等
豊鉄バス(株)	高速バスを除く全線
名鉄バス(株)	蒲郡市内の全線

## ② コミュニティバス

豊橋市（「地域生活」バス・タクシー）、豊川市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村のコミュニティバス

※コミュニティバスのうち、小学生の運賃が50円未満である場合は、この事業の実施に伴う運賃の変更はありません。

## 2 豊橋市地域公共交通活性化推進協議会における報告の内容

## (1) 報告対象路線

事業者名	路線名
豊鉄バス(株)	新豊線、豊川線及びレイクタウン線
東海交通(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東部東山線（「地域生活」バス・タクシー（東部地区））</li> <li>・ 梅藪前芝線（「地域生活」バス・タクシー（前芝地区））</li> <li>・ 細谷二川系統、細谷イオン系統、小沢二川系統、小沢イオン系統（「地域生活」バス・タクシー（南部地区））</li> <li>・ 川北線（「地域生活」バス・タクシー（川北地区））</li> </ul>
豊鉄タクシー(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北部石巻西川・賀茂線、北部下条・森岡線（「地域生活」バス・タクシー（北部地区））</li> <li>・ 高根芦原系統、豊南大清水系統（「地域生活」バス・タクシー（南部地区））</li> </ul>

## (2) 運賃を変更する期間

令和6年7月20日（土）～9月1日（日）

## (3) 運賃を変更する内容

対象路線のこども運賃を乗車区間にかかわらず、1乗車50円とする。

ただし、この変更を適用した運賃の支払いは現金のみとし、障害者割引等その他の割引制度は適用しないものとする。

戦 略	取組み・事業名称	実施スケジュール		R5実施状況 ◎：完了 ○：着手 一：未着手	令和5年度実績	令和6年度予定
		前期 H28 ~ R2	後期 R3~R7			
【戦略1】公共交通幹線軸の強化	【取組み1-1】幹線バスの高規格化					
	1	バス路線の維持、再編・見直し	→	○	・令和5年10月1日に田口新城線、津具線、レイクタウン線で路線変更、運行本数、ダイヤの変更を実施した。(豊鉄バス) ○幹線バス維持のため、「歩いて暮らせるまち区域」への居住の誘導を図っている。誘導の取り組みとして、歩いて暮らせるまち区域定住促進事業費補助金を交付しており、令和5年度は新規の認定を238件行った。(市)	・幹線バス路線のサービス水準(基本運行時間、本数)の見直しを検討する。(豊鉄バス) ○引き続き、「歩いて暮らせるまち区域」への居住の誘導を進める。(市)
	2	運行時間帯の拡大	→	○	・終バスについては、年間を通じて運休。(豊鉄バス)	・幹線バス路線のサービス水準(基本運行時間、本数)の見直しを検討する。(豊鉄バス)
	3	運行本数の増便	→	○	・令和4年12月に多くの路線でダイヤ改正を実施し最終便の繰り上げや減便を実施した。それ以降は維持している。(豊鉄バス)	・幹線バス路線のサービス水準(基本運行時間、本数)の見直しを検討する。(豊鉄バス)
	4	バス専用・優先レーンの拡充	→	○	・慢性的に遅延している路線や系統について把握した。(豊鉄バス) ・R2事故ゼロプラン箇所(三ノ輪交差点)について、モニタリングを実施。(国)	・慢性的に遅延している路線や系統について、引き続き把握する。(豊鉄バス) ・R2事故ゼロプラン箇所(三ノ輪交差点)について、引き続きモニタリングを実施。(国)
	5	公共交通優先システムの導入(信号制御など)	→	○	・慢性的に遅延している路線や系統について把握した。(豊鉄バス)	・慢性的に遅延している路線や系統について、引き続き把握する。(豊鉄バス)
	6	路線バス遅延箇所の対策	→	○	・慢性的に遅延している路線や系統について把握した。(豊鉄バス) ・R2事故ゼロプラン箇所(三ノ輪交差点)について、モニタリングを実施。(国)	・慢性的に遅延している路線や系統について、引き続き把握する。(豊鉄バス) ・R2事故ゼロプラン箇所(三ノ輪交差点)について、引き続きモニタリングを実施。(国)
	7	バス停施設の改善	→	○	・【バス待ち環境改善】飯村西(上)、オノ神住宅前(上)照明修繕。(豊鉄バス) ・【乗降時安全確保】東田坂上(下)、堂坂町(上下)、ユタカ自動車(上)バス停移動。(豊鉄バス)	・旅客の利用状況や待合の環境状況に応じ、バス停の改修等を検討していく。(豊鉄バス)
	8	バリアフリー車両の導入促進	→	◎	・全営業所の路線バス車両において、車椅子の乗降に対応済(高速乗合バス車両を除く)。(豊鉄バス)	・今後導入車両も継続してバリアフリー化を図る。(豊鉄バス)
	9	市民の利用意識の醸成	→	○	・あなたの街の時刻表配布:富士見校区・大清水校区(レイクタウン線)、野依校区(三本木線)。(豊鉄バス、市) ・バス乗り方教室(富士見小、嵩山小)。(豊鉄バス、市) ・カーフリーデー等各種イベントでのPR。(交通事業者、市) ●電車・バス沿線周遊マップの作成。(豊橋駅東エリア)(豊橋鉄道、豊鉄バス、愛知大学、市) ●沿線マップ作成(南栄駅周辺)。(豊橋鉄道)	・あなたの街の時刻表配布。(豊鉄バス、市) ・バス乗り方教室。(豊鉄バス、市) ・カーフリーデー等各種イベントでのPR。(交通事業者、市) ・電車・バス沿線周遊マップの作成。(豊橋鉄道、豊鉄バス、愛知大学、市)
	1001	運転士確保に向けた取組みの推進	→	○	・HPに新卒、中途採用向けの採用情報を公開。また、定期的に説明会を開催して募集(対面・WEB双方)。(豊鉄バス) ・国土交通省が創設した、「働きやすい職場認証制度」で、東海交通株式会社/二つ星取得、豊鉄タクシー株式会社/一つ星取得、ヨシダ交通株式会社/一つ星取得。(タクシー協会) 【令和5年度運転士確保支援事業の実施。(市、タクシー協会、豊鉄バス)】 実績:東海交通1名採用 豊鉄バス1名採用	・求人広告、転職イベント、自社採用HP、SNS、従業員紹介制度、ハローワーク、行政・学校関係に働きかけしていく。(豊鉄バス) ・国土交通省が創設した、「働きやすい職場認証制度」で、東海交通株式会社/三つ星取得予定、豊鉄タクシー株式会社/二つ星取得予定、ヨシダ交通株式会社/一つ星取得。(タクシー協会) ・国土交通省が創設した、「女性ドライバー応援企業」の活用とPR。(タクシー協会) 【令和6年度運転士確保支援事業の実施。(市、タクシー協会、豊鉄バス)】
10	路線バスに対する公共補助、見直し	→	○	・域内路線バスに対する運行補助。(国、市) ・広域路線バスに対する運行補助。(国、県、市) ・路線バス利用促進事業の実施。(豊鉄バス・市) ●物価高騰対策助成金。(市)	・域内路線バスに対する運行補助。(国、市) ・広域路線バスに対する運行補助。(国、県、市) ・路線バス利用促進事業の実施。(豊鉄バス・市)	
11	交通システムの高度化の検討	→	○	・乗降調査の実施等、乗客の動向の調査。(豊鉄バス、市)	・乗降調査の実施等、乗客の動向の調査。(豊鉄バス、市)	
【取組み1-2】路面電車・渥美線の機能の維持・強化						
12	駅・停留場のバリアフリー化の促進	→	○	・高師駅移転バリアフリー化の方向性の検討。(豊橋鉄道) ・令和6年度以降の予定を検討、計画。(豊橋鉄道) 利用者(人/日) 高師駅2,561、大清水2,683 ・改善に伴う補助金の活用検討。(豊橋鉄道、市)	・改善に伴う補助金の活用検討継続。(豊橋鉄道、市)	
108	バリアフリー車両の導入促進	→	○			
13	駅・停留場施設の改善	→	○	・高師駅移転バリアフリー化の方向性の検討。(豊橋鉄道) ・令和6年度以降の予定を検討、計画。(豊橋鉄道) 利用者(人/日) 高師駅2,561、大清水2,683 ・改善に伴う補助金の活用検討。(豊橋鉄道、市)	・改善に伴う補助金の活用検討継続。(豊橋鉄道、市)	

→ 調査・検討      ●新規事業  
→ 整備・導入・実施

【報告第2号】豊橋市地域公共交通網形成計画に基づく令和5年度実績及び令和6年度予定について(2/8)

戦 略	取組み・事業名称	実施スケジュール		R5実施状況 ◎：完了 ○：着手 一：未着手	令和5年度実績	令和6年度予定
		前期 H28 ～ R2	後期 R3～R7			
【戦略1】公共交通幹線軸の強化	【取組み1-2】路面電車・渥美線の機能の維持・強化					
	14	軌道敷の改修	→	○	・東田～競輪場前間一般部下り線(56m)軌道敷改修。(豊橋鉄道、国、市) ・交差点部軌道敷改修計画の見直し。(豊橋鉄道)	・東田～競輪場前間一般部下り線(45m)軌道敷改修。(豊橋鉄道、国、市) ・交差点部軌道敷改修計画の再検討。(豊橋鉄道)
	15	路面電車施設の更新	→	○	・東田変電所・継電機器・営業所の更新は完了済。(豊橋鉄道) ・年度計画に基づく、その他通常保守修繕、改修更新工事を実施。(豊橋鉄道)	・東田変電所・継電機器・営業所の更新は完了済。(豊橋鉄道) ・年度計画に基づく、その他通常保守修繕、改修更新工事を実施。(豊橋鉄道)
	16	渥美線施設の更新	→	○	・鉄軌道施設安全対策事業費補助金で以下を実施。(豊橋鉄道、国、県、市) ・道床交換 老津～杉山間。 ・レール分岐器交換 新豊橋～柳生橋間 花田2号分岐。 ・レール交換 小池～愛知大学前間 小池陸道。 ・木柱のコンクリート柱化 向ヶ丘～大清水間。 ・踏切制御装置他更新 小池10号踏切他 計3箇所。 ・信号関係制御装置他更新 大清水～三河田原間 計4箇所。	・鉄軌道施設安全対策事業費補助金で以下を実施予定。(豊橋鉄道、国、県、市) ・レール分岐器交換 大清水～老津 老津4号分岐。(豊橋鉄道、国、県、市) ・木柱のコンクリート柱化 向ヶ丘～大清水間。(豊橋鉄道、国、県、市) ・踏切制御装置他更新 大清水4号、老津4号踏切。(豊橋鉄道、国、県、市) ・信号関係制御装置他更新 南栄～高師間。(豊橋鉄道、国、県、市) ・年度計画に基づく、その他通常保守点検修繕を実施。(豊橋鉄道、国、県、市) ・車両更新の方向性についての検討、調査。(豊橋鉄道、国、県、市)
	17	渥美線橋梁の耐震化の促進	→	○	・落橋防止耐震化対策完了橋梁について橋脚・橋台の洗掘調査実施を検討。(豊橋鉄道)	・落橋防止耐震化対策完了橋梁について橋脚・橋台の洗掘調査実施検討。(豊橋鉄道) ・令和7年度以降の予定を検討、計画(洗掘調査、渥美線柳生橋～小池間 JR乗越橋)。(豊橋鉄道)
	105	公共交通優先システムの導入(信号制御など)	→	一	・信号制御の整備している企業へヒアリングを実施した。(市) ・東田電停の信号制御について、警察と協議した。(警察、市)	・他社事例などの調査研究を検討。(豊橋鉄道) ・引き続き東田電停の信号制御について、警察と協議する。(警察、市)
	18	適切な道路空間の確保に向けた沿線まちづくりの検討	→	○	・定期的な意見交換会を継続。(豊橋鉄道、市)	・定期的な意見交換会を継続。(豊橋鉄道、市)
	109	市民の利用意識の醸成	→	○	●豊橋鉄道創立100周年ホームページリニューアル、公式インスタグラムなどによる利用促進、情報発信の強化。(豊橋鉄道) ・豊橋まちなか未来会議「まちなかアクセス向上プロジェクト」への参画。(豊橋鉄道) ・市電おかしききっぷ等の拡販による利用促進。(豊橋鉄道) ・出張出前講座等による公共交通利用への意識づけ。(豊橋鉄道、市) ・カーフリーデーの実施(市、交通事業者)	・豊橋鉄道創立100周年ホームページリニューアル、公式インスタグラムなどによる利用啓発、情報発信の強化。(豊橋鉄道) ・豊橋まちなか未来会議「まちなかアクセス向上プロジェクト」への参画(豊橋鉄道) ・出張出前講座等による公共交通利用への意識づけ。(豊橋鉄道、市) ・カーフリーデーの実施(市、交通事業者)
	19	路面電車の上下分離方式など行政の適切な関与の検討	→	○	・定期的な意見交換会を継続。(豊橋鉄道、市) ・渥美線の機能の維持・強化についてもその都度検討、研究を行った。(豊橋鉄道)	・定期的な意見交換会を継続。(豊橋鉄道、市)
	【取組み1-3】公共交通の利便性向上					
20	公共交通利用者への支援(通勤・通学定期、高齢者・子育て世帯など)	→	○	・ユニバーサルデザインタクシーの導入促進(車両導入数：東海61台、豊鉄9台、ヨシダ12台/2024年3月末現在)。(タクシー協会、県、市) ・子育て応援企業(豊橋鉄道株式会社)の実施する取り組み・イベント等を、子育て支援課の運用するSNSでPRした。(市) ・タクシーのサービス/付き添いタクシー「そいたく」をPRし、高齢者の移動+生活をサポートした。(一部事業者)(タクシー協会) ・豊橋市(各交通助成券等)への連携。(豊橋鉄道) ・豊橋まちなか活性化センターと連携した市電おかしききっぷ。(豊橋鉄道) ・「渥美線・市内線・豊鉄バス 豊橋まちなかおでかけきっぷ」の発売期間延長。(豊橋鉄道) ・市電の日「市内線小学生運賃無料」。(豊橋鉄道、市民団体) ・高齢者移動支援事業/障害者社会参加促進事業/高齢者運転免許自主返納支援事業等の実施。(交通事業者、市) タクシー料金助成券5,000円分 電車・バス・コミュニティバス共通助成券5,000円分 元気バス購入助成5,000円分 【実績】①対象者：22,079人 ②引き換え者数 15,670人(内タクシー助成券 11,871人、共通助成券 3,297人、元気バス 502人)	・ユニバーサルデザインタクシーの導入促進。(タクシー協会、県、市) ※令和6年度、市内13台以上導入予定(東海10台、豊鉄1台、ヨシダ2台) ※現状の導入率26.2%(愛知県タクシー協会では、令和8年までに導入率25%を目指すとなっているが豊橋タクシー協会は令和8年度までに導入率50%を目指す。) ・障害者手帳及び療育手帳のモバイルアプリ(マイロID)を実施(割引時にモバイルアプリを提示するだけで、割引を行うため利便性の向上につながる)。(タクシー協会) ・タクシーのサービス/付き添いタクシー「そいたく」をPRし、高齢者の移動+生活をサポートする。(一部事業者)(タクシー協会) ・豊橋市・原市施策(交通助成券等)への連携を継続(豊橋鉄道) ・豊橋まちなか活性化センターと連携した市電おかしききっぷを継続。(豊橋鉄道) ・「渥美線・市内線・豊鉄バス 豊橋まちなかおでかけきっぷ」の発売期間延長。(豊橋鉄道) ●豊橋鉄道創立100周年記念 子育て応援企画「市内電車こども無料の日」。(豊橋鉄道) ・引き続き、子育て応援企業(豊橋鉄道株式会社・豊鉄バス株式会社)の実施する取り組み・イベント等を、子育て支援課の運用するSNS・ブログでPRすることで、子育て世帯が公共交通機関を利用して外出する機会増加に寄与する。(市) ・高齢者移動支援事業/障害者社会参加促進事業/高齢者運転免許自主返納支援事業等の実施。(交通事業者、市) タクシー料金助成券5,000円分 電車・バス・コミュニティバス共通助成券5,000円分 元気バス購入助成5,000円分 ●子育て世帯に対する施策を実施する。(交通事業者、市)	
21	利用しやすい運賃体系の導入(ゾーン制運賃、まちなか来訪者への支援、乗継割引など)	→	○	・しおかぜバス・豊橋市民病院乗継割引。(豊鉄バス・市) ・1日フリー乗車券(紙・デジタル)の発売。(豊橋鉄道、豊鉄バス) ●豊鉄バス、交通系IC機器取付(豊鉄バス、国、県、沿線市町)	・しおかぜバス・豊橋市民病院乗継割引。(豊鉄バス・市) ・1日フリー乗車券(紙・デジタル)の発売。(豊橋鉄道、豊鉄バス) ●令和6年度末豊鉄バス交通系IC導入完了。(豊鉄バス、国、県、沿線市町) ●コミュニティバスキャッシュレス決済導入。(市)	

→ 調査・検討      ●新規事業  
→ 整備・導入・実施

【報告第2号】豊橋市地域公共交通網形成計画に基づく令和5年度実績及び令和6年度予定について(3/8)

戦 略	取組み・事業名称	実施スケジュール		R5実施状況 ◎：完了 ○：着手 一：未着手	令和5年度実績	令和6年度予定
		前期 H28 ~ R2	後期 R3~R7			
【戦略1】公共交通幹線の強化	【取組み1-3】公共交通の利便性向上					
	22	路線バスへのICカードの導入	→	○	●豊鉄バス、交通系IC機器取付(豊鉄バス、国、県、沿線市町)	●令和6年度末豊鉄バス交通系IC導入完了。(豊鉄バス、国、県、沿線市町)
	23	リアルタイム運行情報システムの導入	→	◎	・バスロケーションシステムにより、利用者へ運行情報を提供。(豊鉄バス) ・豊橋市公共交通運行情報システム「のってみりん」の運用。(市)	・多くの方にご利用して頂くためバスロケーションシステムのPRに努める。また、バスロケーションシステムの運行データを活かしてダイヤ改正時に役立てていく。(豊鉄バス) ・豊橋市公共交通運行情報システム「のってみりん」の運用。(市)
	24	利便性が高い公共交通の効果的な情報の周知	→	○	・あなたの街の時刻表配布:富士見校区・大清水校区(レイクタウン線)、野依校区(三本木線)。(豊鉄バス、市) ・バス乗り方教室(富士見小、嵩山小)。(豊鉄バス、市) ・カーフリーデー等各種イベントでのPR。(交通事業者、市) ●電車・バス沿線周遊マップの作成(豊橋駅東エリア)。(豊橋鉄道、豊鉄バス、愛知大学、市) ●沿線マップ作成(南栄駅周辺)。(豊橋鉄道、市民団体) ●車内FreeWiFiによる利用者利便性の向上(一部事業者)。/検討中(タクシー協会) ・車内タブレット広告による、公共交通機関のPRと情報発信の強化。(一部事業者で実施)(タクシー協会) ・ホームページ及び公式Instagram等によるイベント情報等を継続、強化。(豊橋鉄道) ・MaaSアプリ「RYDEPASS」「CentX」「ジョルダン」「my Route」との連携継続、利活用強化。(豊橋鉄道) ・新豊橋駅掲示板・案内表示器、駅前停留場電車接近案内表示器活用による情報展開。(豊橋鉄道)	・あなたの街の時刻表配布。(豊鉄バス、市) ・バス乗り方教室。(豊鉄バス、市) ・カーフリーデー等各種イベントでのPR。(交通事業者、市) ・電車・バス沿線周遊マップの作成。(豊橋鉄道、豊鉄バス、愛知大学、市) ・車内FreeWiFiによる利用者利便性の向上(一部事業者)。(タクシー協会) ・車内タブレット広告による、公共交通機関のPRと情報発信の強化(一部事業者で実施)。(タクシー協会) ※「令和6年度運転士確保支援事業」(豊橋市)の広告を掲載する予定。掲載することで運転士確保と、公共交通のPRを行う。(一部事業者) ・ホームページ及び公式Instagram等によるイベント情報等を継続、強化。(豊橋鉄道) ・MaaSアプリ「RYDEPASS」「CentX」「ジョルダン」「my Route」との連携継続、利活用強化。(豊橋鉄道) ・新豊橋駅掲示板・案内表示器、駅前停留場電車接近案内表示器の利活用強化(豊橋鉄道)
	25	交通施設や情報等のトータルデザイン化	→	○	●豊橋鉄道創立100周年事業で記念ラッピング車両を運行。(豊橋鉄道、豊鉄バス、豊鉄タクシー) ●新たに豊鉄100周年を告知する掲示板の設置を既存の案内板等と調和するように豊橋鉄道(株)と検討し、トータルデザイン化を図った。(市) ・豊橋鉄道創立100周年各事業の実施、6年度分に向けた検討、計画を継続。(豊橋鉄道)	・今後、令和4年度に策定した車体広告のデザインの手引きを含め相談があれば、手引き等の内容に沿ったものとなるよう誘導を図る。(市) ・豊橋鉄道創立100周年各事業の実施。(豊橋鉄道)
	1002	MaaSなど新たなモビリティサービスの推進	→	○	・ダイヤ改正時に公共交通運行情報システム「のってみりん」へ情報提供している。(豊鉄バス) ・1日フリー乗車券(紙・デジタル)の発売。(豊橋鉄道、豊鉄バス) ●MaaSアプリ(ジョルダン)とヨシダ交通機の配車アプリ「得タクline」の連携を実施。(タクシー協会、市) ・車内Wi-FiとGPSシステムを組み合わせた、位置情報の共有を検討(一部事業者)。(タクシー協会) ・ホームページ及び公式Instagram等による運行情報、沿線施設情報等の提供。(豊橋鉄道) ・MaaSアプリ「RYDEPASS」「CentX」「ジョルダン」「my Route」との連携継続、利活用強化。(豊橋鉄道) ・東三河MaaS構想の推進。(豊橋鉄道)	・ダイヤ改正時に公共交通運行情報システム「のってみりん」へ情報提供している。(豊鉄バス) ・1日フリー乗車券(紙・デジタル)の発売。(豊橋鉄道、豊鉄バス) ・車内Wi-FiとGPSシステムを組み合わせた、位置情報の共有を検討(一部事業者)。(タクシー協会) ・ホームページ及び公式Instagram等による運行情報、沿線施設情報等の提供を継続、強化。(豊橋鉄道) ・MaaSアプリ「RYDEPASS」「CentX」「ジョルダン」「my Route」の利活用強化。(豊橋鉄道) ●新モビリティサービス推進事業(MaaS実証事業)として東三河地域にMaaSプラットフォームを整備予定。(県、東三河市町村)
【戦略2】地域拠点等における交通結節機能の強化	【取組み2-1】交通結節点へのアクセス性の向上					
	1	バス路線の維持、再編・見直し	→	○	・令和5年10月1日に田口新城線、津具線、レイクタウン線で路線変更、運行本数、ダイヤの変更を実施した。(豊鉄バス) ○幹線バス維持のため、「歩いて暮らせるまち区域」への居住の誘導を図っている。誘導の取り組みとして、歩いて暮らせるまち区域定住促進事業費補助金を交付しており、令和5年度は新規の認定を238件行った。(市)	・幹線バス路線のサービス水準(基本運行時間、本数)の見直しを検討する。(豊鉄バス) ○引き続き、「歩いて暮らせるまち区域」への居住の誘導を進める。(市)
	26	自転車ネットワークの整備推進	→	○	・(主)豊橋渥美線(富本町地内始め)の自転車通行空間(L=約1.1km)の整備。(県) ・市道 神明町・向山大池町1号線において、自転車通行空間確保工事を実施。(市)	・市道 南松山町・福岡町7号線などにおいて、自転車通行空間確保工事を実施予定。(市)
	27	地域主体のコミュニティバス(「地域生活」バス・タクシー)の運行	→	○	・既存路線の運行継続及び見直し(市) ・湖西市と連携し企業シャトルBaaSの社会実験を実施。(市)	・既存路線の運行継続及び見直し(市) ●柿の里バスのルート・ダイヤ変更。(市) ●湖西市と連携し企業シャトルBaaSの実証実験を実施。(市)
	【取組み2-2】乗換機能の強化					
	28	円滑な乗換施設の整備(赤岩口電停、競輪場前電停など)	→	○	・豊橋駅前待機車数の確保。(タクシー協会)	・豊橋駅前待機車数の確保。(タクシー協会) ・南栄駅にあるタクシー待合施設の整備実施予定(一部事業者)。(タクシー協会) ・柿の里バス赤岩口停留所の運用変更。(豊橋鉄道)
29	P&R駐車場の整備推進	→	○	・渥美線老津駅パーク&ライド駐車場整備の検討、調査。(豊橋鉄道)	・渥美線老津駅パーク&ライド駐車場整備の検討、調査を継続。(豊橋鉄道)	
30	C&R駐輪場の整備推進	→	○	・C&R駐輪場の候補地の現地確認を実施した。(豊鉄バス、市)	・C&R駐輪場の候補地の整備について、関係機関と調整する。(豊鉄バス、市) ・渥美線南栄駅北側近接遊休地の駐輪場整備への働きかけを継続。(豊橋鉄道)	
7	バス停施設の改善	→	○	・【バス待ち環境改善】飯村西(上)、オノ神住宅前(上)照明修繕。(豊鉄バス) ・【乗降時安全確保】東田坂(上下)、堂坂町(上下)、ユタカ自動車(上)バス停移動。(豊鉄バス)	・旅客の利用状況や待合の環境状況に応じ、バス停の改修等を検討していく。(豊鉄バス)	

---> 調査・検討      ●新規事業  
→ 整備・導入・実施

【報告第2号】豊橋市地域公共交通網形成計画に基づく令和5年度実績及び令和6年度予定について(4/8)

戦 略	取組み・事業名称	実施スケジュール		R5実施状況 ◎：完了 ○：着手 —：未着手	令和5年実績	令和6年度予定	
		前期 H28 ～ R2	後期 R3～R7				
【戦略2】 地域拠点等における交通結節機能の強化	13 駅・停留場施設の改善		→	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>高師駅移転バリアフリー化の方向性の検討。(豊橋鉄道)</li> <li>令和6年度以降の予定を検討、計画。(豊橋鉄道)</li> <li>利用者(人/日) 高師駅2,561、大清水2,683</li> <li>改善に伴う補助金の活用検討。(豊橋鉄道、市)</li> </ul>	改善に伴う補助金の活用検討継続。(豊橋鉄道、市)	
	31 分かりやすい交通情報の提供		→	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通マップの更新。(交通事業者、市)</li> <li>レイクタウン線の時刻表について、大清水駅での渥美線との乗り継ぎ時刻表掲載。(豊鉄バス)</li> <li>タクシーの待機車両数の情報発信について検討を行う。(タクシー協会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通結節点の情報提供に努めていく。(豊鉄バス)</li> <li>デジタルサイネージによる各種情報提供を継続。(一部事業)。(タクシー協会)</li> <li>タクシーの待機車両数の情報発信について検討を継続。(タクシー協会)</li> </ul>	
	1002 MaaSなど新たなモビリティサービスの推進		→	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイヤ改正時に公共交通運行情報システム「のってみりん」へ情報提供している。(豊鉄バス)</li> <li>1日フリー乗車券(紙・デジタル)の発売。(豊橋鉄道、豊鉄バス)</li> <li>●MaaSアプリ(ジョルダン)とヨシダ交通の配車アプリ「得タクline」の連携を実施。(タクシー協会、市)</li> <li>車内Wi-FiとGPSシステムを組み合わせた、位置情報の共有を検討(一部事業社)。(タクシー協会)</li> <li>ホームページ及び公式インスタグラム等による運行情報、沿線施設情報等の提供。(豊橋鉄道)</li> <li>●MaaSアプリ「RYDEPASS」「CentX」「ジョルダン」「my Route」との連携継続、利活用強化。(豊橋鉄道)</li> <li>●東三河MaaS構想の推進。(豊橋鉄道)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイヤ改正時に公共交通運行情報システム「のってみりん」へ情報提供している。(豊鉄バス)</li> <li>1日フリー乗車券(紙・デジタル)の発売。(豊橋鉄道、豊鉄バス)</li> <li>●車内Wi-FiとGPSシステムを組み合わせた、位置情報の共有を検討(一部事業社)。(タクシー協会)</li> <li>●ホームページ及び公式インスタグラム等による運行情報、沿線施設情報等の提供を継続、強化。(豊橋鉄道)</li> <li>●MaaSアプリ「RYDEPASS」「CentX」「ジョルダン」「my Route」の利活用強化。(豊橋鉄道)</li> <li>●新モビリティサービス推進事業(MaaS実証事業)として東三河地域にMaaSプラットフォームを整備予定。(県、東三河市町村)</li> <li>●自動運転バスの実証実験の実施検討。(市、交通事業者)</li> </ul>	
	【取組み2-3】交通結節点周辺のまちづくりとの連携						
	32 地域拠点整備と連携した交通施策の実施(南栄駅、高師駅周辺など)		→	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>弥生町線について以下を実施(市)</li> <li>●用地取得を完了した。</li> <li>●西側約165m区間について両側歩道工事を実施。</li> <li>●南栄駅周辺においては、令和3年度から愛知県が弥生町線や南栄伊古部線の線形や渥美線との交差方法などの検討を行っている。高師駅周辺については鉄道事業者等と適宜情報共有を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●弥生町線について以下を実施予定(市)</li> <li>●舗装工400mを実施予定。</li> <li>●国道259号と(都)弥生町線の交差部における事業認可協議。</li> </ul>	
33 乗換施設整備と連携した地域拠点整備(赤岩口電停周辺など)		→	—		<ul style="list-style-type: none"> <li>●実施主体者側からの相談や協議に対して、交通管理者として必要な意見や助言を行う。(警察)</li> <li>●都市計画マスタープランに基づき、関係課と連携し計画推進を図る。(市)</li> </ul>		
34 道の駅整備と連携した交通施策の実施		→	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「道の駅とよはし」への路線バス乗り入れに関して協議中。(豊鉄バス、市、国、県)</li> <li>●コミバス乗り入れ(市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「道の駅とよはし」への路線バス乗り入れに関して協議を継続する。(豊鉄バス、市、国、県)</li> <li>●コミバス乗り入れ(市)</li> </ul>		
【戦略3】 まちなか交通の魅力向上	【取組み3-1】路面電車の魅力向上						
	35 軌道緑化の整備		→	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>●維持管理作業を継続(市、豊橋鉄道)</li> <li>●当該区間軌道整備を実施(豊橋鉄道)</li> <li>●芝の維持管理(市)</li> <li>●軌道緑化撤去復旧工事</li> <li>●レール沈下に伴い187m2の芝生の撤去復旧。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●維持管理作業を継続(市、豊橋鉄道)</li> <li>●芝の維持管理(市)</li> </ul>	
	36 グレードの高い停留場の整備		→	—			
	18 適切な道路空間の確保に向けた沿線まちづくりの検討		→	—			
	25 交通施設や情報等のトータルデザイン化		→	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●豊橋鉄道創立100周年事業で記念ラッピング車両を運行。(豊橋鉄道、豊鉄バス、豊鉄タクシー)</li> <li>●新たに豊鉄100周年を告知する掲示板の設置を既存の案内板等と調和するように豊橋鉄道(株)と検討し、トータルデザイン化を図った。(市)</li> <li>●豊橋鉄道創立100周年各事業の実施、6年度分に向けた検討、計画を継続。(豊橋鉄道)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今後、令和4年度に策定した車体広告のデザインの手引きを含め相談があれば、手引き等の内容に沿ったものとなるよう誘導を図る。(市)</li> <li>●豊橋鉄道創立100周年各事業の実施。(豊橋鉄道)</li> </ul>	
37 企画電車の運行(おでんしゃ、納涼ビール電車など)		→	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「納涼ビール電車」運行 6～9月。(豊橋鉄道)</li> <li>●「おでんしゃ」運行 11月～3月。(豊橋鉄道)</li> <li>●豊橋まつり「花電車」運行 10月。(豊橋鉄道)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「納涼ビール電車」運行 6～9月。(豊橋鉄道)</li> <li>●「おでんしゃ」運行 11月～3月。(豊橋鉄道)</li> <li>●豊橋まつり「花電車」運行 10月。(豊橋鉄道)</li> </ul>		

--- 調査・検討      ● 新規事業  
 → 整備・導入・実施

【報告第2号】豊橋市地域公共交通網形成計画に基づく令和5年度実績及び令和6年度予定について(5/8)

戦 略	取組み・事業名称	実施スケジュール		R5実施状況	令和5年実績	令和6年度予定	
		前期 H28 ~ R2	後期 R3~R7				
【戦略3】 まちなか交通の 魅力向上	38 レトロ電車など観光資源の開発	---	→	—	●豊橋鉄道創立100周年記念ラッピング電車の運行。(豊橋鉄道)	●JR東海と連携して行う「推し旅」事業の一環として、ゲームコンテンツを装飾したラッピング電車を運行。(豊鉄、市) ●市内線車両3203号の将来の在り方について検討。(豊橋鉄道) ●レトロ電車、観光電車など他社導入事例の調査、研究。(豊橋鉄道)	
	3001 「豊橋市ふるさと寄附金」を活用した体験型返礼品の実施	---	→	○	●路面電車運転体験 0名(豊橋鉄道、市)	●路面電車運転体験の実施(豊橋鉄道、市)	
	【取組み3-2】回遊性・アクセス性の向上						
	39 歩行者を優先したデザイン性の高い道路整備	→	→	○	●萱町通り:萱町通みち・まちづくり協議会と連携して、歩道空間を活用したイベントを3回開催するとともに、日常的な賑わいを創出するため、歩道空間の活用に向けた実証実験を行った。(市) ●駅前大通り:まちなか活性化センターを事務局とした豊橋まちなか未来会議と連携し、駅前大通りの回遊性や滞在性を向上させるため、実証実験や短期的な整備方針をまとめた基本計画の作成を行った。(市)	●萱町通り:引き続き歩道を活用したイベントや日常的な歩道空間の活用に向けた実証実験を行う。(市) ●駅前大通り:引き続き豊橋まちなか未来会議と連携して、回遊性や滞在性の向上に向けた実証実験を実施するとともに、愛知県と連携しながら、基本計画の実現に向けた取組みを進める。(市) ●その他路線:関係者調整を行う。(市)	
	131 分かりやすい交通情報の提供	→	→	○	●公共交通マップの更新。(交通事業者、市) ●レイクタウン線の時刻表について、大清水駅での渥美線との乗り継ぎ時刻表掲載。(豊鉄バス) ●タクシーの待機車両数の情報発信について検討を行う。(タクシー協会)	●交通結節点の情報提供に努めていく。(豊鉄バス) ●デジタルサイネージによる各種情報提供を継続。(一部事業)。(タクシー協会) ●タクシーの待機車両数の情報発信について検討を継続。(タクシー協会)	
	3002 居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりと連携した施策の実施	---	→	○	●令和5年度については、大きなダイヤ改正を行っていない。幹線線の運行維持に努めた。(豊鉄バス) ●豊橋まちなか活性化センターと連携した市電おかえりきっぷ。(豊橋鉄道) ●「渥美線・市内線・豊鉄バス 豊橋まちなかおでかけきっぷ」の発売期間延長。(豊橋鉄道)	●幹線バス路線のサービス水準(基本運行時間、本数)の見直しを検討する。(豊鉄バス) ●中心市街地内での、乗降場所の確保/拡大の要望を継続。(タクシー協会) ●豊橋まちなか未来会議と連携して、アクションプランの一つである駅前大通りの歩行空間充実プロジェクトとして、回遊性や滞在性向上に向けた取組みを進める。(市) ●歩行空間の快適性向上などの具体的な取り組みにつなげるため、3D都市モデルを活用し、仮想空間上でまちなかの熱環境と人流の可視化・分析を行う。(市) ●豊橋まちなか活性化センターと連携した市電おかえりきっぷを継続。(豊橋鉄道) ●渥美線・市内線・豊鉄バス 豊橋まちなかおでかけきっぷの発売期間延長。(豊橋鉄道)	
	2 運行時間帯の拡大	→	→	○	●終バスについては、年間を通じて運休。(豊鉄バス)	●幹線バス路線のサービス水準(基本運行時間、本数)の見直しを検討する。(豊鉄バス)	
	3 運行本数の増便	→	→	○	●令和4年12月に多くの路線でダイヤ改正を実施し最終便の繰り上げや減便を実施した。それ以降は維持している。(豊鉄バス)	●幹線バス路線のサービス水準(基本運行時間、本数)の見直しを検討する。(豊鉄バス)	
	40 駐輪場の利便性・快適性の向上 (短時間駐輪場の整備、地下駐輪場の改修など)	→	→	○	●民間再開発事業により、施設用駐輪場の整備を進めた。(市) ●豊橋駅前駐輪場について以下を実施。(市) -オートスロープ修繕。 -西口地下エリア天井剥落防止工事。 -西口地下エリア自動火災報知設備取替修繕。 ●東口地下エリア防犯カメラシステム取替修繕。 ●定期点検及び長寿命化計画の更新。	●引き続き民間再開発事業を促進し、施設用駐輪場の整備を進める。(市) ●豊橋駅前駐輪場について以下を実施予定。(市) -オートスロープ修繕。 -西口地下エリア泡消火設備取替修繕。 ●二川駅南口自動車駐車場管理システム更新。 ●券売機のキャッシュレス精算対応。	
	26 自転車ネットワークの整備推進	→	→	○	●(主)豊橋渥美線(富本町地内始め)の自転車通行空間(L=約1.1km)の整備。(県) ●市道 神明町・向山大池町1号線において、自転車通行空間確保工事を実施。(市)	●市道 南松山町・福岡町7号線などにおいて、自転車通行空間確保工事を実施予定。(市)	
	41 サイクルトレイン、サイクルバスの導入・拡充	→	→	○	●輸行バックでの自転車持込み可能としている。(豊鉄バス) ●渥美線サイクルトレイン実施 R5年度利用実績 5,656人(R4 5,195人、R3 4,470人)。(豊橋鉄道)	●輸行バックでの自転車持込み可能としている。(豊鉄バス) ●渥美線サイクルトレイン実施を継続。(豊橋鉄道)	
	42 都市間鉄道の利便性向上	---	→	○	●三河地域新幹線駅利用促進期成同盟会 幹事会(計3回)、総会(R5.5.30)への参加。(市) ●R6.1.23 『東海道新幹線豊橋駅及び三河安城駅への「ひかりこだま」の増便・停車に関する要望』への参加(市) ●啓発用ポスターの作成、豊橋駅をはじめ各所への掲示。(市) ●JR東海HP「リニアでつながるまち」へ「のんほいパーク春フェス2024」掲載。(市)	●R7.1月下旬(予定)JR東海への要望活動。(市) ●啓発グッズ(ポスター想定)のリニューアルと展開。(市)	
	43 豊橋駅東エリアと西エリアを結ぶ通行環境の向上	---	→	—	●城海津跨線橋南側歩道橋の撤去に向けてJR東海と協議を実施。(県)	●城海津跨線橋南側歩道橋の撤去に向けてJR東海と引き続き、協議を実施。(県)	
	20 公共交通利用者への支援(通勤・通学定期、高齢者・子育て世帯など)	→	→	○	●ユニバーサルデザインタクシーの導入促進(車両導入数: 東海61台、豊鉄9台、ヨシダ12台/2024年3月末現在)。(タクシー協会、県、市) ●子育て応援企業(豊橋鉄道株式会社)の実施する取り組み・イベント等を、子育て支援課の運用するSNSでPRした。(市) ●タクシーのサービス/付き添いタクシー「そいたく」をPRし、高齢者の移動+生活をサポートした。(一部事業者)(タクシー協会) ●豊橋市(各交通助成券等)への連携。(豊橋鉄道) ●豊橋まちなか活性化センターと連携した市電おかえりきっぷ。(豊橋鉄道) ●「渥美線・市内線・豊鉄バス 豊橋まちなかおでかけきっぷ」の発売期間延長。(豊橋鉄道) ●市電の日「市内線小学生運賃無料」。(豊橋鉄道、市民団体) ●高齢者移動支援事業/障害者社会参加促進事業/高齢者運転免許自主返納支援事業等の実施。(交通事業者、市) タクシー料金助成券5,000円分 電車・バス・コミュニティバス共通助成券5,000円分 元氣バス購入助成5,000円分 【実績】①対象者:22,079人 ②引き換え者数 15,670人(内タクシー助成券 11,871人、共通助成券 3,297人、元氣バス 502人)	●ユニバーサルデザインタクシーの導入促進。(タクシー協会、県、市) ※令和6年度、市内13台以上導入予定(東海10台、豊鉄1台、ヨシダ2台) ※現状の導入率26.2%(愛知県タクシー協会では、令和8年までに導入率25%を目指すとなっているが豊橋タクシー協会は令和8年度までに導入率50%を目指す。) ●障害者手帳及び療育手帳のモバイルアプリ(マイロID)を実施(割引時にモバイルアプリを提示するだけで、割引を行うため利便性の向上につながる)。(タクシー協会) ●タクシーのサービス/付き添いタクシー「そいたく」をPRし、高齢者の移動+生活をサポートする。(一部事業者)(タクシー協会) ●豊橋市・田原市施策(交通助成券等)への連携を継続(豊橋鉄道) ●豊橋まちなか活性化センターと連携した市電おかえりきっぷを継続。(豊橋鉄道) ●「渥美線・市内線・豊鉄バス 豊橋まちなかおでかけきっぷ」の発売期間延長。(豊橋鉄道) ●豊橋鉄道創立100周年記念 子育て応援企画「市内電車こども無料の日」。(豊橋鉄道) ●引き続き、子育て応援企業(豊橋鉄道株式会社・豊鉄バス株式会社)の実施する取り組み・イベント等を、子育て支援課の運用するSNS・ブログでPRすることで、子育て世帯が公共交通機関を利用して外出する機会増加に寄与する。(市) ●高齢者移動支援事業/障害者社会参加促進事業/高齢者運転免許自主返納支援事業等の実施。(交通事業者、市) タクシー料金助成券5,000円分 電車・バス・コミュニティバス共通助成券5,000円分 元氣バス購入助成5,000円分 ●子育て世帯に対する施策を実施する。(交通事業者、市)	
	21 利用しやすい運賃体系の導入(ゾーン制運賃、まちなか来訪者への支援、乗継割引など)	→	→	○	●しおかぜバス・豊橋市民病院乗継割引。(豊鉄バス・市) ●1日フリー乗車券(紙・デジタル)の発売。(豊橋鉄道、豊鉄バス) ●コミュニティバスキャッシュレス決済導入。(市)	●しおかぜバス・豊橋市民病院乗継割引。(豊鉄バス・市) ●1日フリー乗車券(紙・デジタル)の発売。(豊橋鉄道、豊鉄バス) ●令和6年度末IC導入。(豊鉄バス) ●コミュニティバスキャッシュレス決済 (市)	

---> 調査・検討  
→ 整備・導入・実施  
● 新規事業

【報告第3号】豊橋市地域公共交通網形成計画に基づく令和5年度実績及び令和6年度予定について(6/8)

戦 略	取組み・事業名称	実施スケジュール		R5実施状況 ◎：完了 ○：着手 一：未着手	令和5年実績	令和6年度予定
		前期 H28 ~ R2	後期 R3~R7			
【戦略3】まちなか交通の魅力向上	【取組み3-3】まちなかのまちづくりとの連携					
	44	駅前大通二丁目地区市街地再開発事業と連携した交通施策の実施	→	○	●萱町通り：萱町通みち・まちづくり協議会と連携して、歩道空間を活用したイベントを3回開催(内、1回は協議会での独自開催)するとともに、日常的な賑わいを創出するため、歩道空間の利活用に向けた実証実験を行った。(市) ●駅前大通り：まちなか活性化センターを事務局とした豊橋まちなか未来会議と連携し、駅前大通りの回遊性や滞在性を向上させるため、実証実験や短期的な整備方針をまとめた基本計画の作成を行った。(市)	・萱町通り：引き続き歩道を活用したイベントや日常的な歩道空間の利活用に向けた実証実験を行う。(市) ・駅前大通り：引き続き豊橋まちなか未来会議と連携して、回遊性や滞在性の向上に向けた実証実験を実施するとともに、愛知県と連携しながら、基本計画の実現に向けた取組みを進める。(市) ・その他路線：関係者調整を行う。(市)
	45	豊橋駅西口駅前地区の整備に向けた検討	→	○	・駅前広場の整備の方向性を検討するため、送迎バス事業者へのヒアリングを実施した。(市)	・引き続き関係者との調整を行いながら、駅前広場の整備の方向性について検討する。(市)
	3002	居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりと連携した施策の実施	→	○	・令和5年度については、大きなダイヤ改正を行っていない。幹線軸の運行維持に努めた。(豊鉄バス) ・豊橋まちなか活性化センターと連携した市電おかえりきっぷ。(豊橋鉄道) ・「渥美線・市内線・豊鉄バス 豊橋まちなかおでかけきっぷ」の発売期間延長。(豊橋鉄道)	・幹線バス路線のサービス水準(基本運行時間、本数)の見直しを検討する。(豊鉄バス) ・中心市街地内での、乗降場所の確保/拡大の要望を継続。(タクシー協会) ・豊橋まちなか未来会議と連携して、アクションプランの一つである駅前大通りの歩行空間充実プロジェクトとして、回遊性や滞在性向上に向けた取組みを進める。(市) ●歩行空間の快適性向上などの具体的な取組みにつなげるため、3D都市モデルを活用し、仮想空間上でまちなかの熱環境と人流の可視化・分析を行う。(市) ・豊橋まちなか活性化センターと連携した市電おかえりきっぷを継続。(豊橋鉄道) ・渥美線・市内線・豊鉄バス 豊橋まちなかおでかけきっぷの発売期間延長。(豊橋鉄道)
【戦略4】自転車や公共交通を中心としたライフスタイルへの転換	【取組み4-1】交通手段を賢く使い分ける意識変革					
	46	「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」の制定・周知	→	○	・カーフリーデーイベントで周知した。(市)	・イベント等により周知を行う。(市)
	47	徒歩、自転車、公共交通の利用啓発の推進(イベント開催、マップ作成など)	→	○	・あなたの街の時刻表配布：富士見校区・清水校区(レイクタウン線)、野依校区(三本木線)。(豊鉄バス、市) ・バス乗り方教室(富士見小、嵩山小)。(豊鉄バス、市) ・カーフリーデー等各種イベントでのPR。(交通事業者、市) ●電車・バス沿線周遊マップの作成(豊橋駅東エリア)。(豊橋鉄道、豊鉄バス、愛知大学、市) ●沿線マップ作成(南栄駅周辺)。(豊橋鉄道) ・実施主体と連携し、沿線ハイキングをはじめ、各種行催事等を実施(豊橋鉄道) ・JR東海さわやかウォーキング(豊橋鉄道) ・名鉄ハイキング(豊橋鉄道) ・とよはし市電を愛する会「市電の日」イベント(豊橋鉄道、市民団体、市) ・沿線小学校への出張出前講座 9回。(豊橋鉄道、市) ・豊橋鉄道創立100周年事業及びその他イベントを検討、計画、実施。(豊橋鉄道) ・ラッピング電車運行ほか。(豊橋鉄道)	・あなたの街の時刻表配布。(豊鉄バス、市) ・バス乗り方教室(富士見小、嵩山小)。(豊鉄バス、市) ・カーフリーデー等各種イベントでのPR。(交通事業者、市) ●電車・バス沿線周遊マップの作成。(豊橋鉄道、豊鉄バス、愛知大学、市) ・沿線マップの作成。(豊橋鉄道) ・各種イベントに交通事業者として参画し、公共交通の安全性と新しい生活様式に沿った新たな利用方法(貨物サービス・駆付けサービス等)やサービスなど提案・PRする。(タクシー協会) ・実施主体と連携し、沿線ハイキングをはじめ、各種行催事等を実施予定。(豊橋鉄道) ・豊橋鉄道創立100周年事業としてのイベントを検討、計画、実施。(豊橋鉄道)
	48	エコ通勤の推進	→	○	・市役所職員にT-EMS(豊橋エコマネジメントシステム)を通じてエコ通勤の実施を呼びかけ(市) ・エコ通勤優良事業所の認証登録(継続)(市) ・ホームページへの「とよはしエコ通勤運動」や「エコ通勤優良事業所認証制度」の掲載(市) ・県境地域におけるエコ通勤の推進(事業者、市)	・市役所職員にT-EMS(豊橋エコマネジメントシステム)を通じてエコ通勤の実施を呼びかけ(市) ・エコ通勤優良事業所の認証登録(継続)(市) ・ホームページへの「とよはしエコ通勤運動」や「エコ通勤優良事業所認証制度」の掲載(市) ・県境地域におけるエコ通勤の推進(事業者、市)
	49	健康マイレージ事業の実施	→	○	・市運用ウォーキングアプリ「あいち健康プラス」のスタンプラリー機能を活用し、ウォーキングイベントを2回開催した。(参加者計 1,677人)。(市) ・「豊橋市健康なまちづくりパートナーシップ」を締結した、株式会社菱和テレコムと連携し、ドコモショップを活用したノルディックウォーキングイベントを初開催した(参加者数 17人)。(市) ・企業対抗で歩数を競う「企業対抗チャレンジマッチ」を開催した。(参加数 48社858人)。(市)	・令和5年度に開催した各種イベント等を令和6年度も引き続き実施し、健康マイレージ及びアプリの周知を行う。(市) ・令和6年度新たに「豊橋市健康なまちづくりパートナーシップ」を締結した、住友生命保険相互会社と連携し、『Vitalityとよはしウォーク』を初開催予定。「あいち健康プラス」を併用させることで、健康マイレージ事業の参加者を増加させる。(市) ・健康経営に取り組む事業者の健康マイレージ参加、民間企業との健康づくりの協定に基づいた周知等は継続して実施する。(市)
	50	公共交通を活用した観光の推進	→	○	・豊橋駅観光案内所の運営。(市) ・豊鉄バスツアー「奥三河再発見」実施。(豊橋鉄道)	・豊橋市及びコンベンション協会との連携を積極的に強化協力に努める。(タクシー協会) ・豊鉄バスツアー「奥三河再発見」の企画、実施を継続。(豊橋鉄道) ・豊橋駅観光案内所の運営。(市)
	51	運転免許自主返納者への支援(運転経歴証明書の交付など)	→	○	・令和元年11月より、運転免許証自主返納支援事業を開始し、令和5年度についても引き続き本事業を実施した。(市内在住の70歳以上を対象)(市) 【支援内容】 (a)交通助成券の交付(次の中から一つを選択) (b)電動アシスト自転車購入費用の一部を助成 ・タクシー券5,000円分 ・補助率1/4(上限15,000円) ・電車・バス・コミュニティバス共通券5,000円分 ・元気バス5,000円分 ・あらゆる機会を通じて、運転免許証の自主返納についての理解と協力を求めた。(警察)	・令和6年度についても引き続き本事業を実施する。(市内在住の70歳以上を対象)(市) 【支援内容】 (a)交通助成券の交付(次の中から一つを選択) (b)電動アシスト自転車購入費用の一部を助成 ・タクシー券5,000円分 ・補助率1/4(上限15,000円) ・電車・バス・コミュニティバス共通券5,000円分 ・元気バス5,000円分 ・引き続き運転免許証の自主返納事業を推進する。(警察)
4001	新しい生活様式に対応した公共交通の利用啓発の推進	→	○	・市内線車両3503号車体更新に伴い、当該車両の車内の抗菌・抗ウイルス対策 3月。(豊橋鉄道) ・3203号の車内の抗菌・抗ウイルス対策 3月。(豊橋鉄道) ・タクシーのサービス「付き添いタクシーそいたく」。(一部事業者)(タクシー協会)	・引き続き安心安全、安定輸送完遂のための各施策を遂行。(豊橋鉄道)	

→ 調査・検討 ●新規事業  
→ 整備・導入・実施

【報告第2号】豊橋市地域公共交通網形成計画に基づく令和5年度実績及び令和6年度予定について(7/8)

戦 略	取組み・事業名称	実施スケジュール		R5実施状況	令和5年度実績	令和6年度予定	
		前期 H28 ~ R2	後期 R3~R7				
【戦 略 4】 自転車や公共交通を中心としたライフスタイルへの転換	【取組み4-2】多様な交通手段が共存できる道路空間の整備						
	52	市街地の渋滞解消につながる幹線道路の整備(国道259号バイパスの4車線化、東三河環状線の整備など)	→		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(国)259号(植田拡幅)について、大崎広沢交差点以北におけるの関係者協議、工事発注。(県)</li> <li>・(主)東三河環状線(石巻本町)について、用地買収及び埋蔵文化財の調査を実施。(県)</li> <li>・(都)小松原街道線について、用地買収及び用地測量を実施。(県)</li> <li>【都市計画道路】(市)</li> <li>・(都)大岩寺沢線の4期区間について、区間内の用地補償及び道路改良工事を実施</li> <li>・(都)一色高洲線の2期区間について、詳細設計に着手。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(国)259号(植田拡幅)について、引き続き、大崎広沢交差点以北における工事を発注予定。(県)</li> <li>・(主)東三河環状線(石巻本町)について、引き続き用地買収及び埋蔵文化財の調査を実施予定。(県)</li> <li>・(都)小松原街道線について、引き続き用地買収を実施予定。(県)</li> <li>【都市計画道路】(市)</li> <li>・(都)大岩寺沢線の4期区間について、用地補償及び道路改良工事を完了し供用開始予定。</li> <li>・(都)一色高洲線の2期区間について詳細設計を引き続き実施。</li> <li>・(都)山田三弥線について用地補償に着手。</li> </ul>
	53	生活道路の安全対策(ゾーン30の指定、歩道設置など)	→		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活道路に対する安全対策を検討、実施(警察、国、県、市)</li> <li>・通学路の点検の実施(市)</li> <li>・ゾーン30の制度周知、速度遵守の啓発(警察、市)</li> <li>・キッズゾーンでの安全運転の啓発(市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活道路に対する安全対策を検討、実施(警察、国、県、市)</li> <li>・通学路の点検の実施(市)</li> <li>・ゾーン30の制度周知、速度遵守の啓発(警察、市)</li> <li>・キッズゾーンでの安全運転の啓発(市)</li> </ul>
	39	歩行者を優先したデザイン性の高い道路整備	→		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>萱町通り</b>:萱町通みち・まちづくり協議会と連携して、歩道空間を活用したイベントを3回開催するとともに、日常的な賑わいを創出するため、歩道空間の利活用に向けた実証実験を行った。(市)</li> <li>●<b>駅前大通り</b>:まちなか活性化センターを事務局とした豊橋まちなか未来会議と連携し、駅前大通りの回遊性や潜在性を向上させるため、実証実験や短期的な整備方針をまとめた基本計画の作成を行った。(市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・萱町通り:引き続き歩道を活用したイベントや日常的な歩道空間の利活用に向けた実証実験を行う。(市)</li> <li>・駅前大通り:引き続き豊橋まちなか未来会議と連携して、回遊性や潜在性の向上に向けた実証実験を実施するとともに、愛知県と連携しながら、基本計画の実現に向けた取組みを進める。(市)</li> <li>・その他路線:関係者調整を行う。(市)</li> </ul>
	26	自転車ネットワークの整備推進	→		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(主)豊橋渥美線(富本町地内始め)の自転車通行空間(L=約1.1km)の整備。(県)</li> <li>・市道 神明町・向山大池町1号線において、自転車通行空間確保工事を実施。(市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道 南松山町・福岡町7号線などにおいて、自転車通行空間確保工事を実施予定。(市)</li> </ul>
	【取組み4-3】自転車活用の推進						
	26	自転車ネットワークの整備推進	→		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(主)豊橋渥美線(富本町地内始め)の自転車通行空間(L=約1.1km)の整備。(県)</li> <li>・市道 神明町・向山大池町1号線において、自転車通行空間確保工事を実施。(市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道 南松山町・福岡町7号線などにおいて、自転車通行空間確保工事を実施予定。(市)</li> </ul>
	40	駐輪場の利便性・快適性の向上(短時間駐輪場の整備、地下駐輪場の改修など)	→		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間再開発事業により、施設用駐輪場の整備を進めた。(市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き民間再開発事業を促進し、施設用駐輪場の整備を進める。(市)</li> </ul>
	30	C&R駐輪場の整備推進	→		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・C&amp;R駐輪場の候補地の現地確認を実施した。(豊鉄バス、市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・C&amp;R駐輪場の候補地の整備について、関係機関と調整する。(豊鉄バス、市)</li> </ul>
	34	道の駅整備と連携した交通施策の実施	→		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクルピットを整備済み(市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクルピットを整備済み(市)</li> </ul>
54	自転車・ヘルメットの貸付及び購入補助	→		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・&lt;三人乗り自転車貸出&gt;</li> <li>子育て家庭の支援の一環として満1歳以上4歳未満及び満2歳以上で小学校就学の始期に達するまでの幼児を2人以上養育しており、豊橋市内に居住している家庭(継続貸出者に限る)を対象に、三人乗り自転車を貸出する。(市)</li> <li>電動アシスト付自転車/20台</li> <li>利用料金 1,000円/月</li> <li>・自転車ヘルメット購入補助(市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温暖化対策の観点から自家用車(ガソリン車)に過度に頼らない社会の普及促進に努める。(市)</li> <li>・自転車ヘルメット購入補助(市)</li> </ul>	

---> 調査・検討      ●新規事業  
 → 整備・導入・実施

【報告第2号】豊橋市地域公共交通網形成計画に基づく令和5年度実績及び令和6年度予定について(8/8)

戦 略	取組み・事業名称	実施スケジュール		R5実施状況 ◎：完了 ○：着手 -：未着手	令和5年度実績	令和6年度予定	
		前期 H28 ～ R2	後期 R3～R7				
〔戦略4〕 自転車や公共交通を中心としたライフスタイルへの転換	【取組み4-3】自転車活用の推進						
	55	自転車利用のメリットの教育		→	○	・健康マガジン(市から事業所への健康づくりに関する情報提供)により、自転車活用のメリットについて周知を行った。(市) 実施回数 4回 送付先 とよはし健康宣言事業所約174社	・健康マガジンによる周知を継続して実施する。(市)
	56	対象・課題に応じた安全教育の実施		→	○	・小学校から高齢者の各世代を対象に、交通安全教育指導者・指導員による自転車教室を実施した。(市) 【参考】小学校(中、高学年) 87回 5,960人、中学校 16回 3,213人 高等学校等 8回 2,883人、高齢者 7回 185人、一般 61回 2,810人 計 179回 15,049人 ・豊橋西高等学校での自転車に関する交通安全対策。(市) 豊橋警察署より自転車安全利用モデル校に委嘱された豊橋西高等学校と連携して自転車に関する啓発活動を行った。(立哨活動、校内放送、ラジオ放送等) ・各種学校だけでなく、自治会や事業者に対し、市と連携して安全教育の実施を推進した。(警察)	・小中学校、高校のほか、老人クラブ等への交通安全教育を実施するとともに、「豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例」の更なる周知を図る。(市) ・豊橋西高等学校での自転車に関する交通安全対策。(市) 引き続き、豊橋警察署より自転車安全利用モデル校に委嘱された豊橋西高等学校と連携して自転車に関する啓発活動を行う。 ・今後も市等と連携し、裾野を広げたきめ細かい交通安全教育を推進する。(警察)
	4002	自転車情報の収集・提供		→	○	・ホームページによる駐輪場情報の提供(豊橋鉄道) ・自転車の通行ルール及び通行空間に関するチラシの配布(市) ・デジタルサイクリングマップ。(市) ・通学等で自転車を使うことが多い高校生(新入生)を対象に安全に楽しく自転車を利用してもらうことを目的とした自転車利用促進リーフレット「豊橋CITYCYCLEスタートブック」を制作しその中にサイクルトレインの情報も掲載し配付した。(市)	・ホームページによる駐輪場情報の提供(豊橋鉄道) ・自転車の通行ルール及び通行空間に関するチラシの配布(市) ・デジタルサイクリングマップ。(市) ・引き続き、高校生(新入生)を対象に自転車の安全利用啓発をする。(市)
	4003	健康を切り口とした自転車活用の推進		→	○	・健康マガジン(企業向け機関誌)での周知(市) ・自転車通勤と健康効果の分析(市)	・健康マガジン(企業向け機関誌)での周知(市) ・自転車通勤と健康効果の分析(市)
	4004	新しい生活様式に対応した自転車活用の推進		→	○	・人との接触の低減となる自転車活用の推進のため、企業に対して自転車通勤の推進(市)	・人との接触の低減となる自転車活用の推進のため、企業に対して自転車通勤の推進(市)
4005	災害に備えた自転車活用の推進		→	○	・災害時の適切な移動手段はその時の被災状況や住環境によって異なることから、非常時の移動手段の一つとして各自で考えるよう啓発している。(市) 令和5年度 防災講座 実績359回 参加者59,200人 ※防災講習会・防災訓練等を含む ・デジタルサイクリラリー実施時に参加者に対し災害時の自転車の活用について説明した。(市)	・市民向け防災講座で、非常時の交通手段は各自で常に検討するよう啓発する。(市) ・自転車のイベント等を通じて自転車の災害時の活用について説明する。(市)	

---> 調査・検討 ●新規事業  
→ 整備・導入・実施

## 東山バス運営協議会の取組について

東山バス運営協議会

## 1 令和 5 年度の取組及び実施結果について

## (1) 支援会員の募集 (1,000 円/1 口)

54 名 68 口

## (2) 協議会会合

令和 5 年度総会、  
月度定例会 (合計 1 2 回)

## (3) 事業計画の変更

なし

## (4) イベントの実施

- ・ 15 周年記念イベント (8/22、8/25、8/30) 参加数 18 人/乗車数 36 人
- ・ 11 万人乗車記念タオルの配布

## (5) 1 区間 100 円運賃導入実験の実施 (平成 27 年 7 月～)

実績 : 244 人 月平均 20.3 人 (令和 4 年度実績 : 243 人 月平均 20.3 人)

## (6) 停留所周辺の美化

- ・ 停留所付近の草取りやチューリップ・ひまわりの植栽

## (7) 印刷物の作成及び広報活動

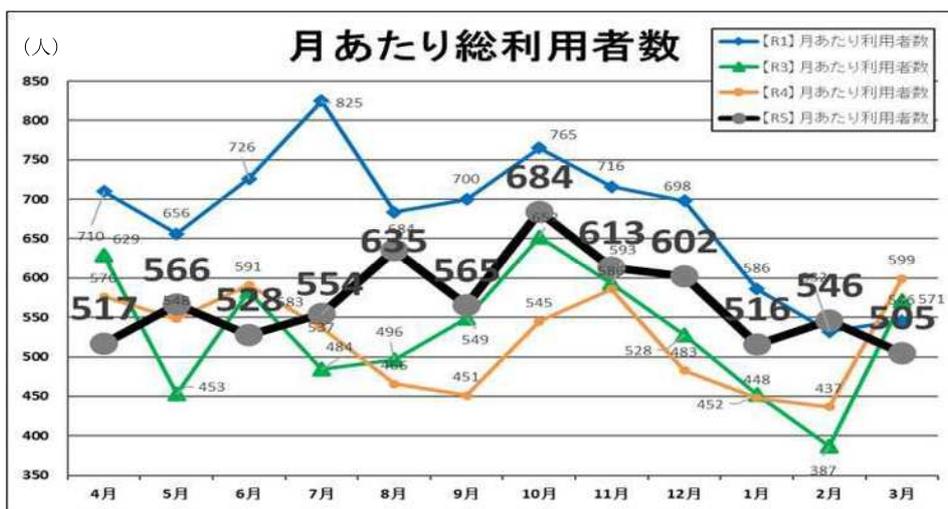
- ・ やまびこ通信の発行 (通算第 32 号まで発行、東山地域へ各戸配布)
- ・ バス停に設置した情報 BOX でパンフレット等を配布
- ・ 利用促進ポスターを町内掲示板 10 か所に掲示

## 2 利用者数の推移



## 3 新型コロナウイルス以降の利用者推移について

令和5年度の利用者数は、前々年度比約107.1%、前年度比約109.0%と、ほぼ同水準ながらも増加傾向となっている。特に利用者数が少なくなりやすい8月に利用促進イベントを行ったことが、今年度の利用者数増加に寄与したと考えられる。



## 4 令和6年度の取組について

### (1) 支援会員の募集 (1,000円/1口)

59名 69口 (5月13日現在)

### (2) イベントの実施

- ・利用促進イベント (8月頃を予定)

### (3) 停留所周辺の美化

- ・停留所付近の草刈等の実施
- ・ひまわりの栽培を予定

### (4) 印刷物の作成及び広報活動

- ・やまびこ通信の発行 (年2回程度、東山地域へ各戸配布を予定)
- ・パンフレットの配布 (東山地域のみではなく路線沿線校区にも配布を予定)
- ・バス停に設置した情報BOXでパンフレット等を配布

## 石巻・下条地域交通推進委員会の取組について

石巻・下条地域交通推進委員会

## 1 令和 5 年度の取組及び実施結果について

## (1) 推進委員会等の開催

開催回数 12 回（うち、総会 1 回、推進委員会 2 回、小委員会 9 回）

## (2) 利用者増加、安定運行を目指した抜本的なルート再編の検討

- ・豊川駅までのルート延伸
- ・市内ルートの充実・効率化

## (3) 地元の特産品を活用したバスツアーの実施

## (ア) シャインマスカット収穫ツアー

【実施期間】 7 月 24 日、25 日、26 日  
8 月 7 日、8 日、9 日（計 6 日間）

【参加者】 33 名

## (イ) 栗の収穫&amp;モンブラン作り体験ツアー

【実施期間】 9 月 13 日、15 日、20 日、22 日（計 4 日間）

【参加者】 25 名

## (ウ) 石巻次郎柿の収穫体験と注連縄作り体験ツアー

【実施期間】 11 月 6 日、8 日、10 日（計 3 日間）

【参加者】 18 名

## (エ) いちご狩り&amp;いちご大福の手作り体験ツアー

【実施期間】 3 月 18 日、19 日、21 日、22 日、25 日、  
26 日、27 日、28 日、29 日（計 9 日間）

【参加者】 80 名

## (4) 夏休み小中学生無料キャンペーンの実施

【実施期間】 令和 5 年 7 月 21 日（金）～8 月 31 日（木）

【対 象】 小中学生無料。また小中学生 1 人に対し同伴者 1 名も無料。

【運 賃】 石巻・下条地域交通推進委員会から支出。

【利 用 者】 小学生 44 名、同伴者 23 名（R 4 実績：小学生 2 名、同伴者 2 名）

## (5) 第 1 便運行経路の変更

利便性向上を図るため、第 1 便を「金田住宅前」バス停に停まる経路に変更  
※10 月 2 日から経路変更

## (6) 「柿の里バスニュース」の発行

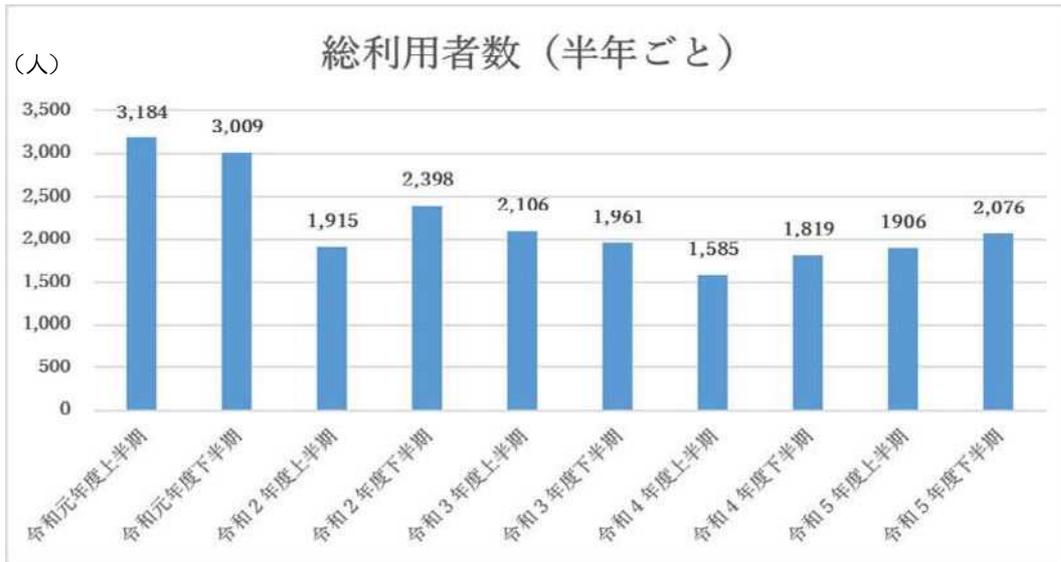
石巻・嵩山・西郷・玉川・賀茂・下条・鷹丘の各校区にキャンペーンの情報や運行ダイヤ等を記載した、「柿の里バスニュース」を回覧

【実施期間】 令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月で 9 回 通算 136 号まで発行

## (7) 車両に掲載する有料広告の募集

自主財源の確保、地元企業のイメージアップ及び地域経済の活性化のため、有料広告を募集し、令和 5 年度の新規掲載は 6 件となった。

## 2 利用者数の推移



## 3 新型コロナウイルス以降の利用者数の推移について

令和5年度の利用者数は、前年度と比べて約17%増加した。コロナによって減少した利用者の回復が出来ていない状況ではあるが、利用促進ツアーの実施等により徐々に戻り基調となっている。令和6年度は新ルートの周知、利用促進活動により利用者増加に努めていく。



## 4 令和6年度の取組について

### (1) ルート変更

地域の行動圏域の実態に合わせたルート変更の実施により、既存路線のスリム化、豊川市への乗り入れが可能となることで、利便性が向上する。

### (2) 利用促進イベント・キャンペーンの実施

各校区での新ルート体験乗車会、地元の特産品を活用したバスツアーを実施することで利用者増加を図る。

### (3) 柿の里バスニュースの継続的な発行

利用促進イベントの告知等の柿の里バスに関する情報を掲載した柿の里バスニュースの作成・配布を通じて更なる利用促進を図る。

## 表浜地域公共交通推進委員会の取組について

表浜地域公共交通推進委員会

## 1 令和5年度の取組及び実施結果について

## (1) 運行内容変更のための協議

なし

## (2) 利用促進の取組

## ①愛のりくん通信の発行（11月、3月）

各校区別の利用者数の推移や良く利用される目的地・施設の一覧表を掲載し、全戸配布した。

## ②民生委員・関係団体等との連携（9月）

実際に利用される可能性が高い方へ周知を図るため、民生委員会へ参加し、情報提供、意見交換を行った。

## ③役員会議の開催（9月）

利用状況の確認、利用促進につなげるため、令和3年度に実施したアンケート調査の結果・分析について再協議した。

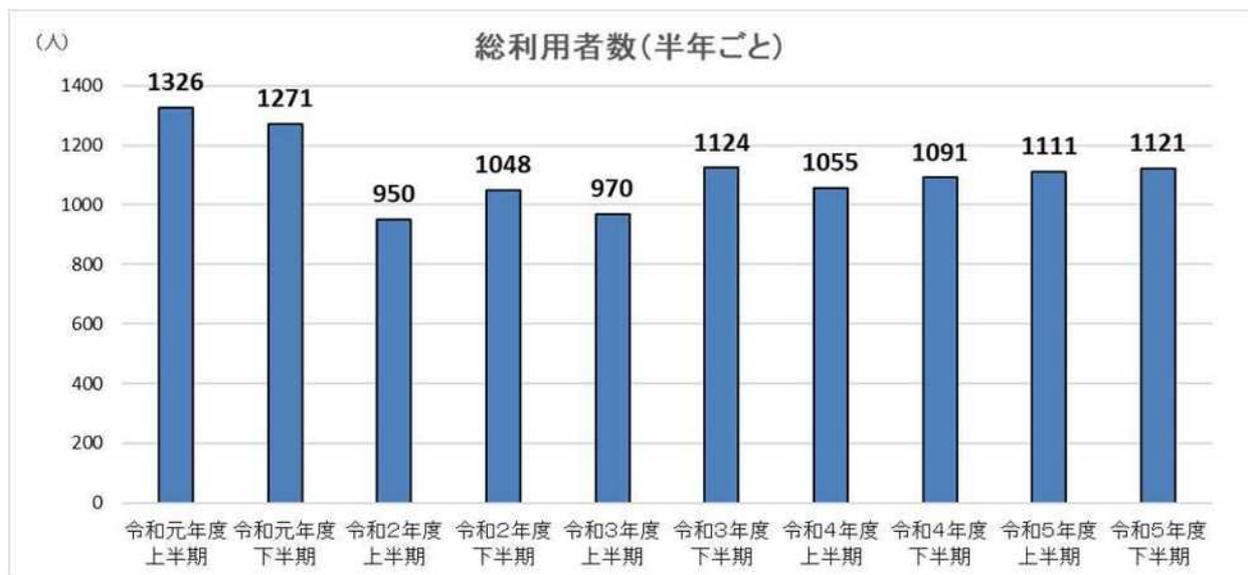
## ④老人クラブ総会へ参加し、利用状況を報告した。（4月）

## (3) のりば設備の維持・管理

## ①のりばの劣化状況を確認する一斉点検を実施した。（4月）

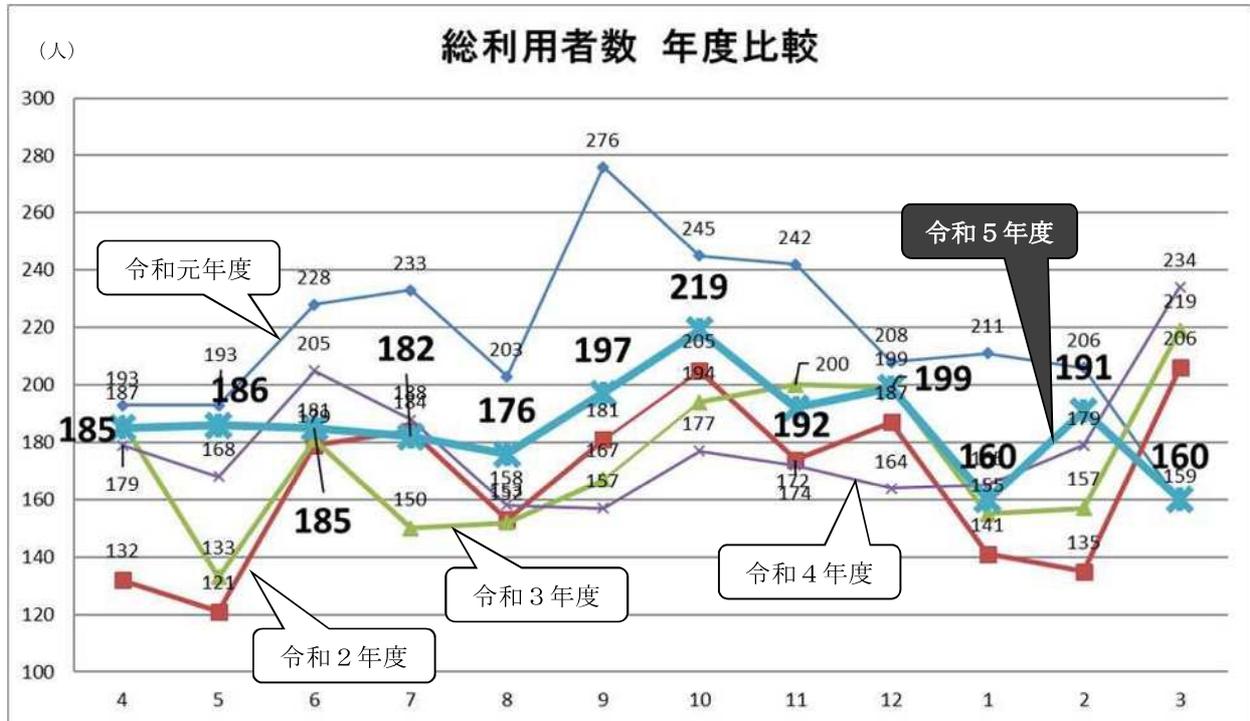
②のりば近隣住民からの情報提供により、のりばの時刻表剥がれを修復した。

## 2 利用者数の推移



### 3 新型コロナウイルス以降の利用者推移について

令和5年度の利用者数は、前々年度比約106.6%、前年度比約104.0%と、前年度に引き続き徐々にではあるが回復傾向にある。現行の運行体系を維持しながら、新規の利用者確保に向けて地道な周知活動を行っていく。



### 4 令和6年度の取組について

#### (1) 利用促進施策の推進

- ①民生委員会、老人クラブ役員会へ参加し、意見交換を実施する。
- ②彩幸包括支援センター主催の講座に参加し、利用状況報告と要望を収集する。
- ③町自治会役員会議、その他団体会議へ参加し、PRと情報収集に努める。

#### (2) のりば設備の維持・管理

のりばの時刻表の剥がれ・劣化状況を定期的に点検・修繕し、運行環境を整備する。

#### (3) 「愛のりくん通信」の発行

利用状況、利用者の声等を掲載し、年間2回程度各戸配布する。

#### (4) 利便性向上のための要望事項の検討

- ①地域の要望は地域の運営委員会にて、適切な検討を行う。
- ②需要の見込めるのりばの増設・移設等を検討する。

## しおかぜバス運営協議会の取組について

しおかぜバス運営協議会

### 1 令和5年度の取組及び実施結果について

#### (1) 「しおかぜバスニュース No. 28-31」の発行

しおかぜバス利用促進に係る告知、利用者に向けた情報を掲載・配布した。

##### 【記事内容】

No.28 しおかぜバスを利用した校区内目的地の紹介について

No.29 豊橋まつり開催日の臨時運行について

No.30 9万人達成キャンペーンについて

No.31 9万人達成キャンペーンの結果報告・運行10周年記念品配布について

【配布校区】前芝校区・津田校区（清須町、川崎町）に各戸配布

#### (2) 豊橋まつり開催日の臨時運行

しおかぜバス運休日である豊橋まつり開催日に、沿線地域に居住する市民が豊橋まつりへ出かけるための移動手段を確保することを目的に、第3便～12便の臨時運行を実施した。

【実施日】令和5年10月21日（土）、22日（日）

【乗車人数】67人

（参考/H29：26人、H30：64人、R1：85人、R2, R3は新型コロナウイルスの影響により豊橋まつりの開催が中止、R4：80人）

#### (3) しおかぜバス利用者数9万人達成キャンペーンの実施

利用者9万人目とその前後に乗車した方へ、地元名産品及びしおかぜバス回数乗車券を贈呈した。

【達成日】令和5年12月19日（火）午後（前芝町在住の利用者）

#### (4) しおかぜバス運行10周年キャンペーンの実施

キャンペーン実施期間に乗車した方へ、市指定もやすごみ袋を配布した。

【実施期間】令和6年1月4日（木）～

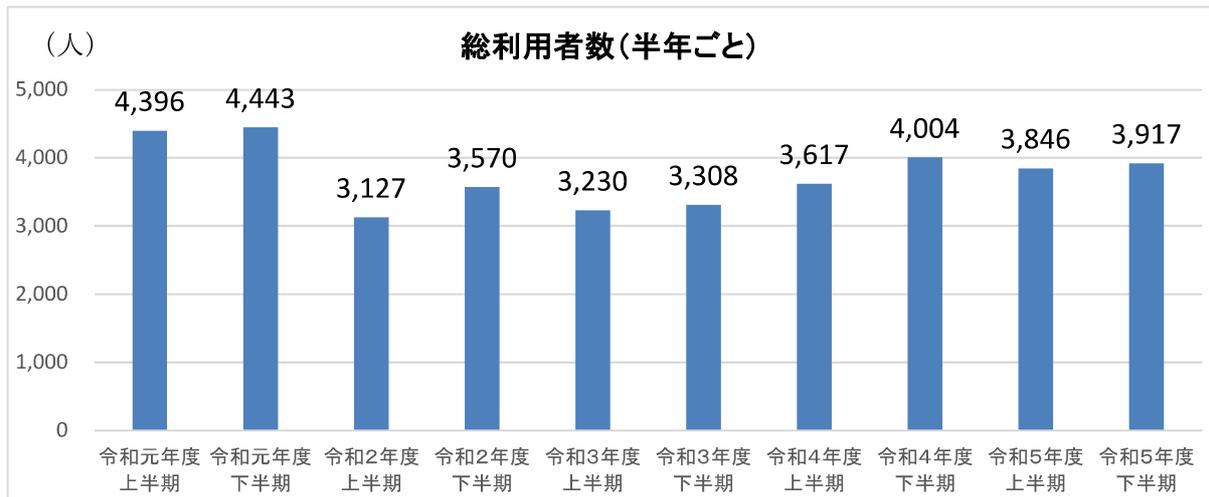
【配布数】150セット

#### (5) しおかぜバス車両広告の募集

自主財源の確保、地元企業のイメージアップ及び地域経済の活性化を図るため、沿線企業に等に対し車両広告を募集した。

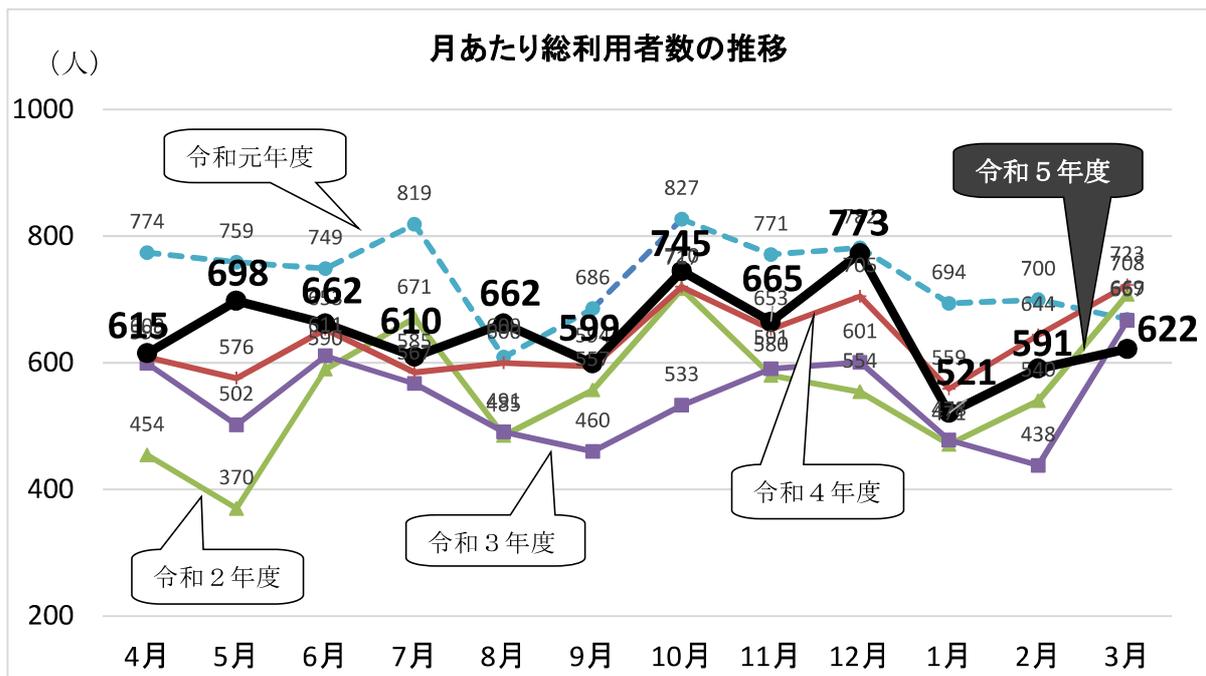
【賛同企業】6社（継続）

## 2 利用者数の推移



## 3 新型コロナウイルス以降の利用者数の推移について

令和5年度の利用者数は、前年度比約101.9%、前々年度比約118.7%、コロナ前の令和元年度比約87.8%となり、少しずつ利用者は回復傾向にある。現行の運行体系を維持しながら、引き続きしおかぜバスの利便性の周知活動や、利用促進策に取り組んでいく。



## 4 令和6年度取組について

### (1) しおかぜバスニュースの継続発行

お出かけのきっかけづくりのための沿線施設の紹介や利用促進イベントの告知等、しおかぜバスに関する情報を掲載したチラシを作成し、回覧または各戸配布する。

### (2) 豊橋まつり臨時運行便の実施

### (3) 感謝キャンペーン等利用促進イベントの実施

## かわきたバス運営委員会の取組について

かわきたバス運営委員会

## 1 令和 5 年度の取組及び実施結果について

## (1) 運営委員会の開催状況

開催回数 12 回（うち、総会 1 回、運営委員会 11 回）。  
月 1 回程度、開催した。

## (2) 「スマイル号通信」の発行

下地・津田・大村校区に、利用促進イベント等の情報を掲載した「スマイル号通信」を回覧。  
【実施期間】令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月に 12 回発行、通算 95 号まで発行

## (3) 夏休み小学生 50 円バス実施に伴う小学生の乗車運賃無料キャンペーンの実施

小学生の運賃 50 円をかわきたバス運営委員会で負担し、無料とするキャンペーンを実施。  
【実施期間】令和 5 年 7 月 21 日～8 月 31 日  
【実施結果】10 名の利用

## (4) 回数券割引販売の実施

1,000 円の回数券を 200 円割引、2,000 円の回数券を 500 円割引で販売し、かわきたバス運営委員会がその分を負担することで、かわきたバスの利用促進及び新規利用者の発掘を図った。  
【実施期間】令和 5 年 6 月 1 日～6 月 30 日  
【販売冊数】1,000 円回数券 4 冊、  
2,000 円回数券 97 冊

## (5) ポケット時刻表の作成

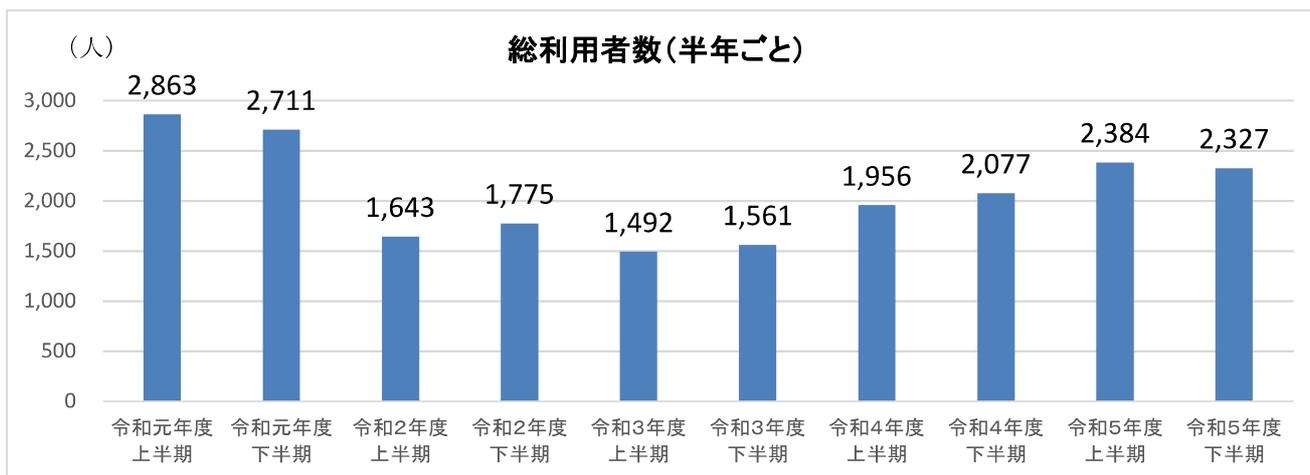
ポケットサイズのかわきたバス時刻表を作成し、大村シニアクラブ等に配布。

## (6) 感謝キャンペーンの実施

かわきたバス利用者に、日頃の感謝として、豊橋市指定のごみ袋とポケットティッシュのセットを配布した。  
【実施期間】令和 5 年 11 月～  
【配布数】450 セット

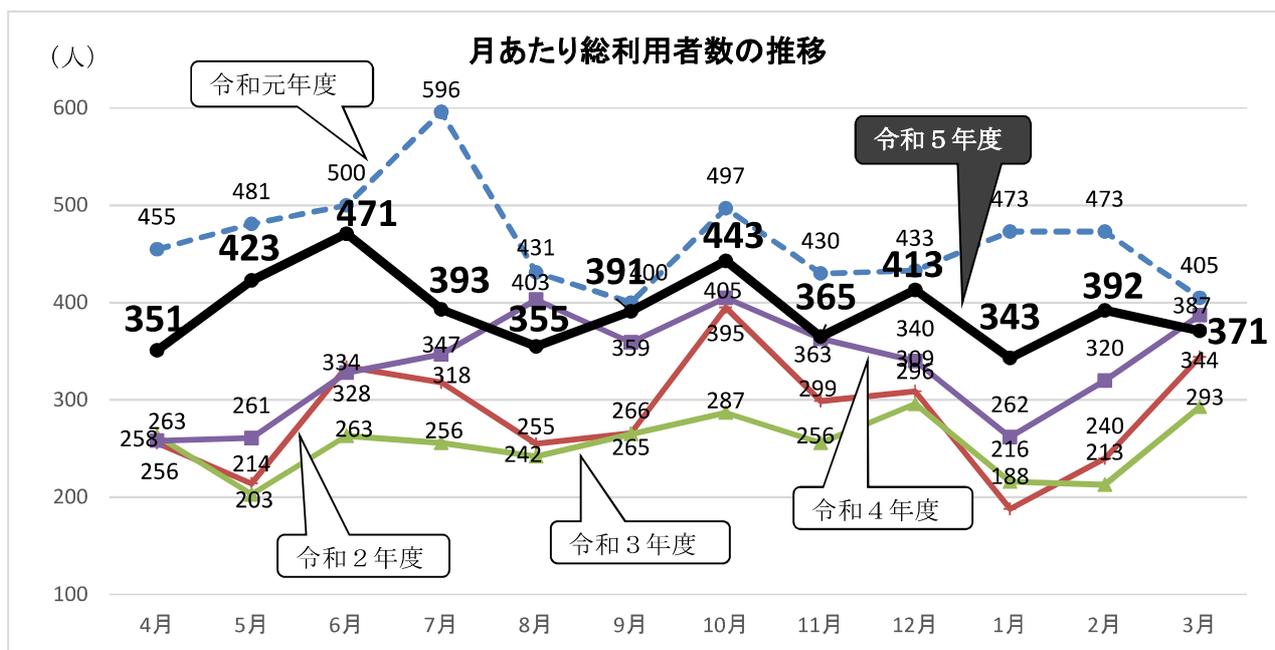
## (7) 「牛川の渡しツアー」の開催検討（6 月台風 2 号の影響で牛川の渡船が廃船し、ツアー開催中止）

## 2 利用者数の推移



## 3 新型コロナウイルス以降の利用者数の推移について

令和5年度の利用者数は、前年度比約 116.8%、前々年度比約 154.3%、コロナ前の令和元年度比約 84.5%となり、少しずつ利用者は回復傾向にある。令和5年4月から変更した新しいルートの定着や新規利用者の開拓のため、引き続き周知活動や利用促進策に取り組んでいく。



## 4 令和6年度の取組について

(1) 年間利用者数 6,000 人、月平均 500 人以上を目標として、前年度までの活動を継続して実施する。

- ①毎月 1 回の運営委員会を開催する。利用状況の確認や対策等について話し合う。
- ②スマイル号通信の月 1 回の発行により、スマイル号の魅力や利便性などを伝える。
- ③牛川の渡しツアー（夏・秋）を実施するなど、利用促進イベントを実施する。

(2) 地域の活動と連携し、コミュニティバスとしての意義や地域活性化のために努力する。

- ①スマイル号の継続と発展のために、3 校区の自治会活動との連携を図る。
- ②豊橋創造大学の学生と連携して利用促進事業を実施する。